

駅周辺まちあるきワークショップ開催

～魅力のスポットを発掘～

要約すると

- エリアブランド展開事業の一環で実施
- 住民の関心事をテーマに冊子作成
- 新たなまちづくりの担い手掘り起こし

本年度のエリアブランド展開事業では、中心市街地内の住民が一層地域に愛着を持っていただくため、3つのエリア（駅南・駅前・青木）ごとに、住民の関心事をテーマとした冊子を作成します。作成にあたっては、ワークショップや取材などを住民参加により実施し、新たなまちづくりの担い手の掘り起こしも目指しています。

このほど、『藤枝駅+（ふじえだえきプラス）』の冊子作成に向け、地域住民や写真家、デザイナーなど15人が参加し「まちあるきワークショップ」を開催しました。駅周辺の歴史や現状などの情報を共有した後に、魅力のスポットを求めまちあるきを行いました。

参加者からは、「この近くに住んでいながらもまちを歩くことが無かったので、まちの日常を再確認したような感覚だった。青木エリアにはハーブ系の街路樹が多いなど、おもしろい発見があった。」「県内随一と言える活版印刷の機材が眠っているなど、次世代に残したい素晴らしいまちの宝物に出会えた。」等の新しい視点での意見が出されました。

3種類の冊子は、3月までに発行し、駅周辺エリアを中心に各8,000部を配布する計画です。

目指すまちの姿	ロゴマーク	冊子のテーマ(発信イメージ)
訪れたいまち 藤枝駅南 志太榛原地域の中で、遊び・活動・交流の中心となる「訪れたいまち」		「クリエイター」 おしゃれな店やもの、クリエイティブな人が集まる
住みたいまち 藤枝駅前 生活しやすい便利な街なかライフを実現する「住みたいまち」		「ママ/マタニティ」 子育てがしやすい、楽しくママたちが集う
巡りたいまち 藤枝青木 明るくお洒落な街なみと、魅力的な個店やスポットが生まれる「巡りたいまち」		「まちあるき」 少しマニアックだけど魅力があり話題になる



▲まちあるきの中でまちの歴史などを教わる参加者